第３講　平安時代の文化①

１　弘仁(こうにん)・貞観(じょうがん)文化

①弘仁・貞観文化の特色

A　平安京の皇族・貴族が中心の文化である。

B　晩唐文化の影響が強いが，国風化の芽生(めば)えも見られる。

C　紀伝道〔文章道(もんじょうどう)〕・明経道(みょうぎょう)が重視され，宮廷を中心に漢文学が流行する。

☆律令の正しい運用をめざしたため。

D　唐から新たに持ち込まれた密教の影響が強く，密教芸術が栄える。

☆官能的で，暗く神秘的なイメージ。

〈 ***Note*** 〉

②平安仏教

A　奈良〔南都〕仏教との相違

あ　**信仰を中心とした一宗派の独立**。

い　南都六宗の理論・学問面中心主義（＝**顕教**）に対し，**密教**的傾向の強い**加持祈禱**などの実践面が中心となる。

☆公的な鎮護国家思想に加え，私的な日常の**現世利益**も強く求める。

う　**山岳仏教の性格が強く**，のちに日本古来の山岳崇拝（白鳳文化期の**役小角〔役行者〕**～）と結合し，国風文化期以降に発生する**修験道**の源流となる。

B　**天台宗⇒比叡山延暦寺（近江国）**

近江国出身の**最澄〔伝教大師〕**が開祖。804年，遣唐使に従い入唐，翌年帰国し桓武天皇の庇護を受ける。**法華経を根本経典とし**，禅・密・戒の総合宗派として，仏の前における絶対平等を説く。南都六宗からの独立を目指し，大乗戒壇設立を主張，死の７日後に認められる。著書『**山家学生式**』『**顕戒論**』。

☆最澄の死後，唐に渡った**円仁〔慈覚大師〕**（現存最古の日記『**入唐求法巡礼行記**』の著者）と**円珍〔智証大師〕**により密教化（＝**台密**），天台教団の基礎が確立。

☆10世紀末，比叡山を下りた円珍派が園城寺〔三井寺〕に移り，**山門派（延暦寺の円仁派）と寺門派（園城寺の円珍派）**に分裂し対立を深めた。

C　**真言宗⇒高野山金剛峰寺（紀伊国），教王護国寺〔東寺〕（山城国，嵯峨天皇に賜る）**

讃岐国出身の**空海〔弘法大師〕**が開祖。804年，遣唐使に従い入唐，806年に帰国。大日経・金剛頂経を根本経典とし，**加持祈禱**などの秘法により中心仏である**大日如来**と合一（＝**即身成仏**）できると説く。南都六宗と友好関係を保ち，**嵯峨天皇の庇護を受け発展**。現世利益的傾向が皇族・貴族の支持を受け，密教の流行をもたらした（＝**東密**）。著書『**三教指帰**』『十住心論』。

〈 ***Note*** 〉

③神祇信仰の発達

A　御霊信仰の発生

非業の死を遂げた人物の霊（＝**怨霊**）を祀る**御霊会**が行われる。

☆神泉苑（早良親王を祀る初の御霊会），祇園社〔現在の八坂神社〕，**北野天満宮**〔北野神社〕（菅原道真を天神とする）など。

B　放生会の開始

捕獲しておいた虫・魚・動物などを山野河海に解き放ち，自由にする法会。仏教の影響を受けて行われた。

---

④神仏習合の風潮⇒天平文化期以来

神宮寺の建築，神前読経の実施，寺院の境内に鎮守を祀るなど，仏教と日本古来の神祇信仰との融合が進んだ。

---

⑤寺院建築

天台宗・真言宗はともに山岳仏教であったため，寺院は自然の地形に応じて自由な**伽藍配置**をとった。

A　**室生寺金堂**　**（大和国）**⇒創建当時は檜皮葺，現在は柿葺の屋根を持つ。

B　**室生寺五重塔**　⇒わが国最小の五重塔。

---

⑥彫刻

頭部と胴体を一本の木でつくる**一木造**が主流，衣文は**翻波式**で豊満・神秘的な像が多い。

A　**室生寺金堂釈迦如来像**

B　**室生寺弥勒堂釈迦如来坐像**

C　**元興寺薬師如来像　（大和国）**

D　**神護寺薬師如来像　（山城国）**

E　**法華寺十一面観音像（大和国）**

F　**観心寺如意輪観音像（河内国）**

G　**教王護国寺講堂不動明王像**

H　**薬師寺僧形八幡神像**⇒神仏習合を示す好例

I　薬師寺神功皇后像　⇒応神天皇の母

〈 ***Note*** 〉

⑦絵画

A　曼荼羅(マンダラ)　⇒真言密教の金剛界(こんごうかい)と胎蔵界(たいぞうかい)を具現化する両界曼荼羅が隆盛。

あ　神護寺両界曼荼羅〔高雄曼荼羅〕

い　教王護国寺両界曼荼羅

B　不動明王像⇒密教の中心仏である大日如来の化身(けしん)，修験道の本尊でもある。

あ　園城寺不動明王像　〔黄(き)不動〕（近江国）

い　高野山明王院(みょうおういん)不動明王像〔赤不動〕（紀伊国）

☆両方とも円珍が描かせたものか。国風文化期の青蓮院(しょうれんいん)不動明王像〔青不動〕（山城国）とともに三不動と称される。

---

⑧書道

嵯峨天皇，空海，橘逸勢(たちばなのはやなり)を唐風書道〔唐様(からよう)〕の三名手として三筆(さんぴつ)と呼ぶ。

A　風信帖(ふうしんじょう)⇒空海が最澄にあてた手紙

B　久隔帖(きゅうかくじょう)⇒最澄が弟子の泰範(たいはん)にあてた手紙

〈 ***Note*** 〉

⑨文芸

上級貴族の教養として，漢文学・歴史学習（＝紀伝道〔文章道〕）が流行。重要な出世の手段ともなった。⇒文学史における“国風暗黒時代”

☆代表的漢詩文作家⇒嵯峨天皇，空海，小野篁，都良香，菅原道真，三善清行ら

A　勅撰漢詩文集⇒文芸を中心とした国家の隆盛を目指す（＝文章経国思想）

あ　凌雲集　（嵯峨天皇）⇒小野岑守らが編纂

い　文華秀麗集（嵯峨天皇）⇒藤原冬嗣らが編纂

う　経国集　（淳和天皇）⇒良岑安世ら編纂

B　漢詩集

あ　性霊集〔遍照発揮性霊集〕（空海）⇒弟子の真済が編集

い　都氏文集（都良香）

う　菅家文草（菅原道真）

え　菅家後集（菅原道真）

C　漢詩論

文鏡秘府論　（空海）⇒わが国最古の漢詩論

D　説話集

日本霊異記　（景戒）⇒わが国最古の仏教説話集

E　歴史書

あ　『続日本紀』以下の六国史が完成

い　類聚国史（菅原道真）⇒六国史の記事を分類

F　氏族系譜書

新撰姓氏録　（万多親王）⇒混乱する畿内諸氏族の系譜を明確にするため編纂

G　かな文字の登場

９世紀に入り，万葉がなの草書体（草がな〔草体がな〕）を簡略化した平がなや，漢字の一部分を採った片かなが用いられ始めた。

☆藤原有年申文（讃岐国の国司，867年）は，草がなから平がなへの変化を示す好例。

〈***Note***〉

⑩教育

A　大学教育の発展

明経道・明法道・紀伝道〔文章道〕・算道の四道が確立。**漢詩文の隆盛に伴い紀伝道が中心教科となる。**

B　**大学別曹**（＝大学付属の寄宿舎兼図書館，一族専用で学費も支援）

弘文院（**和気氏**，和気広世が設立），**勧学院**（**藤原氏**，**藤原冬嗣が設立**），**学館院**（**橘氏**，橘嘉智子〔檀林皇后〕が設立），**奨学院**（**在原氏**など皇族出身貴族〔王氏〕，在原行平が設立）

C　**庶民教育**

綜芸種智院（828年，**空海が設立**）

☆京都で儒教・仏教・道教を教えたが，**空海の死後廃絶した。**

---

⑪儀式・儀礼の整備

『交替式』『内裏式』の編纂など，国家の文化事業として重視された。

〈***Note***〉

第３講　文化史確認テスト

1　開祖最澄〔伝教大師〕が近江国に建立した，天台宗の中心寺院とは？

①延暦寺　②園城寺〔三井寺〕　③石山寺　④寛永寺

2　開祖空海〔弘法大師〕が紀伊国に建立した，真言宗の中心寺院とは？

①教王護国寺〔東寺〕　②金剛峰〔峯〕寺　③長谷寺　④醍醐寺

3　円仁〔慈覚大師〕が著した，現存最古の日記とは？

①懐風藻　②入唐求法巡礼行記　③更級日記　④明月記

4　天台宗の中心経典とは？

①金光明経　②仁王経　③法華経　④大日経

5　真言宗の中心仏とは？

①薬師如来　②釈迦如来　③阿弥陀如来　④大日如来

6　非業の死を遂げた人物の霊である怨霊を祀る行事を何というか？

①鎮護国家　②加持祈禱　③御霊会　④放生会

7　平安前期の金堂・五重塔が現存することでも有名な，のち“女人高野”とも呼ばれた奈良県の寺院とは？

①元興寺　②法華寺　③聖林寺　④室生寺

8　大阪府観心寺に現存する観音像で，平安前期の秘仏とは？

①夢違観音像　②不空羂索観音像　③十一面観音像　④如意輪観音像

9　密教の世界観を絵画で具現化したものを何というか？

①獅子狩文様錦　②天寿国繡帳　③絵因果経　④曼荼羅

10　唐様（＝唐風書道）の三名手である三筆でない人物を一人選べ。

①嵯峨天皇　②空海　③橘逸勢　④小野篁

11　空海の漢詩集とは？

①性霊集　②凌雲集　③文華秀麗集　④経国集

12　六国史の記事の分類である『類聚国史』を編纂した文章博士とは？

①太安万侶　②菅原道真　③三善清行　④都良香

解答

1	①	2	②	3	②	4	③	5	④
6	③	7	④	8	④	9	④	10	④
11	①	12	②						